

函館大会2015 開催要項 12.25 版

1 大会プロフィール

- ① 日 時：2015年12月26日(土)～27日(日)
- ② 場 所：函館市総合福祉センター
- ③ 形 式：スイス式5ラウンド、TD①Buchholtz②SonneBelgar③Seed
- ④ 持時間：40分+30秒/手累加、開始から150分後に審判裁定
- ⑤ 大会長：金城康弘、審判長およびTD：山田明弘
- ⑥ 参加費：JCA会員に限る。参加費大人1,000円、学生以下500円
- ⑦ お申込みは kamiyakumo@hotmail.com 12月23日まで
- ⑧ 主 催：函館チェスサークル(日本チェス協会函館支部)、Green Patio・・・以下詳細



2 日 程

- ① できるだけチェス・クロックの持ち込みをお願いします！

日程 1日目

9:00	開場・準備
9:45	開会・諸連絡
10:00	1ラウンド
13:30	2ラウンド
16:00	3ラウンド
18:30	片付け・閉場

日程 2日目

9:00	開場・準備
9:30	4ラウンド
13:00	5ラウンド
16:00	閉会・表彰
16:30	片付け・閉場

係分担

敬称略

会場準備	
パソコン	
確認と掲示	
受付会計	
表彰・片付け	
写真	
補助	
TD	

(日程が早まる場合あり！)

3 大会競技ルール

- ① 電子機器：プレーヤーの電子機器に関してはご不便ですがスイッチを切る、あるいは別室に預けてください(盗難補償はしません)。万一会場内で電子音が鳴った場合、大会中1回目はペナルティーを課し、2回目以降は即負けとします。十分ご注意ください。
- ② 最初にやること：盤の向き、駒の配置はプレーヤーの責任です。開始前に確認してください。
- ③ クロックの設定：クロックの設定もプレーヤーの責任です。万一まちがった設定をしたことに気付いた場合、クロックを止めて審判を呼び、判断にしがってください。
- ④ 音を出さない：会場内ではどんな音も出さないようご注意ください！
- ⑤ マナー：音が出ないように飲食する、席を立つことは自由で、他の試合を見てもよいです。しかし、マナー違反にならないようご注意ください。また、トイレは自由ですが、そのためにクロックを止めることはできません。

- ⑥ 撮影：会場内での撮影は開始5分以内自由ですが、それ以降は禁止します。
- ⑦ 棋譜の義務：棋譜はどんな場合でも必ず書いてください。棋譜の内容はでたらめでもかまいませんが、正確でない場合にレペティション、50手ルールの申告はできません。
- ⑧ タッチアンドムーブ：タッチアンドムーブを厳守してください。違反があった場合はすぐにクロックを止めて審判を呼んでください。適切に対処します。
- ⑨ キングは取れない：キングは最後まで取れません。相手がチェックを防がなかった場合はすぐにクロックを押し返してください。多い（3回以上）場合は審判に申し出てください。
- ⑩ 勝敗の報告：試合が終わったら、まず勝ち負け、ドローを確認してください。（盤面をすぐにくずさない！）その後、両者の棋譜をもって報告にきてください。コピーしたあと返却します。結果もご確認ください。
- ⑪ 途中棄権：途中棄権はマナー違反であり、多くの迷惑がかかります。できるだけ避けてください。また、分かっている場合は事前にご連絡ください。
- ⑫ トラブルがあったとき：何かトラブルがあったときは、クロックを止めて審判を呼んでください。審判は会場か検討室にいます。プレーヤーどうして判断するのは危険です。

4 大会競技ルール詳細

- ① 4クラス：1リーグで4クラスに分けて順位を競います。（人数33名以上2リーグ）
- ② シード順：シード順はJCA優先、同点なら函館レート(Local Rating)です。ただし、スタート順位（クラス分け）に関してのみ下位者（1100以下）に函館レートをを用います。ご了承ください。
- ③ 入賞：オープン、A、B、Cの各クラスで1位～3位にトロフィー。地元（渡島管内）在住者1位は地元優勝（トロフィー重複あり）。審判団判断で非入賞者から敢闘賞2名。
- ④ タイブ레이크：①ブッフホルツ（対戦相手の得点合計）②ベルガー（勝った相手の得点合計）③シード順（1JCA順、2函館順）。
- ⑤ トロフィー配分：オープン1位が同点の場合、トロフィーの分配はタイブ레이크順とするが、全員同時優勝とする。オープンでトロフィーをもらった場合は、クラスの入賞からはずす。クラス内の1位同点の場合、同時優勝とはしない。敢闘賞は入賞者以外から審判が協議で選ぶ。
- ⑥ ペアリング：ペアリングは国際大会と同じSwiss Managerで行い、ネット上にリアルタイムで結果を掲示します。
- ⑦ 審判裁定①：ブック・ドロー、フラッグ、ドロー・オファーなどは、プレーヤー同士の判断で自由に行ってもかまいません。合意がない場合はクロックを止め審判を読んでください。
- ⑧ 審判裁定②：開始145分後で審判はクロックを止め、両者に継続の意志を確認します。その後局面をパソコン(Fritz15)にかけ、勝勢の判定以外をドローと審判が裁定します。あくまでやむを得ない促進ルールとご理解ください。
- ⑨ 補助審判：当日審判の補助を審判長が任命します。補助審判は審判と同じ資格を持ちますが、裁定に異議が出た場合、審判長が最終判断をします。
- ⑩ 開始時刻：開始時刻に遅刻した場合、どのような理由であっても審判はクロックを動かし、40分後に負けとします。開始時刻はプレーヤー全員合意のうえ早めることがあります。
- ⑪ 勝敗決定後に異常に気付いても再試合はしません。そのままの勝敗とします。
- ⑫ 2日目、最終局前に記念写真を撮る予定です。